

# 食べ方にうるさい蕎麦って何者？

フリーランスライター 藤木 順平

コロナ禍による「ステイホーム」。それと似ているようで異なる、毎日、ホームでステイしている定年退職者。ヒマを持って余した彼らのなかには「蕎麦打ち教室」に通った人もいます。マスコミにも取り上げられブームの様相を呈したりもした。

蕎麦は下草刈りも要らないほど成長が早い。冷害の年、農家の人は米の不作を予期して、畑に蕎麦を撒く。蕎麦は救荒作物だったと信州の人が言っていた。

「蕎麦通」を任じる人たちがいる。いわく「まずは何もつけずに食べろ」。いわく「わさびは蕎麦の上に置き」。いわく「蕎麦は喉で味わえ」。いわく「蕎麦つゆはちよつとだけ」などなど。

蕎麦に関する雑誌を読んだことがある。都内の名だたる蕎麦店の「大将」が、うちではこう食べてほしいと語っているものだ。もちろん、蕎麦通さんがおっしゃっているとおりのことをいう人もいますが、割と意見はバラバラ。なかには

「わさびを蕎麦つゆに入れてもらって結構」「噛みごたえを味わってほしい」。いちばん気に入ったのが「好きなように召し上がってください」である。

久しぶりに蕎麦を打って、みんなに振る舞おうと思っているあなた。友人を失い、子供に嫌われ、奥さんの怒りを買うことにも考えてね。

## 【筆者紹介】

藤木 順平（ふじき・じゅんぺい）  
 本名・藤田 順一）フリーランスライター。1976年早大理工学部卒業。NHK「てんぷく笑芸場」の台本執筆勉強会に参加。日本テレビ「アメリカ横断・ウルトラクイズ」のクイズ作家として5年間、番組に加わる。芝居・漫才の台本、コントなどを執筆する。かたわら、ことわざや笑いを通じての「人間探究」をテーマにした講演を行う。  
 1993年から2007年まで（株）エフシージー総合研究所に勤務、労働組合などの広報誌向けに雑学系の原稿執筆やパズル・クイズの作成を担当する。

## 税務署からのお知らせ

# 年末調整の手続の電子化について

令和2年10月以降に提出する生命保険料控除、地震保険料控除及び住宅借入金等特別控除に係わる控除証明書等について、電子データによる提供が可能になります。

### 勤務先のメリット

- ・事務コストの削減
- ・書面の保管が不要
- ・記載誤りの減少

### 従業員のメリット

- ・手書きの作業の省略
- ・データを翌年度以降利用できる

## ※電子化には準備が必要です。

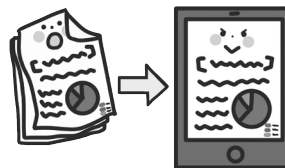
### 勤務先

事前に所轄税務署長の申請承認が必要  
 給与システムの改修等

### 従業員

控除証明書の電子データ発行依頼が必要

詳細は国税庁ホームページ「年末調整手続きの電子化に向けた取組について」をご覧ください。



税に関する情報は国税庁ホームページへ <https://www.nta.go.jp>



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ

イータックス

検索